

来年1月に就航する天草エアラインの新機体「ATR42-600」の内覧会に訪れた多くの関係者ら＝29日午後、菊陽町の崇城大空港キャンパス格納庫（谷川剛）



天草エア新機体を公開

親子イルカピカピカ!!

来年1月就航の天草エアライン（天草市）の新機体「ATR42-600」の内覧会が29日、菊陽町の崇城大空港キャンパスであり、自治体関係者らに機体や内部が公開された。

（39人乗りの）「親子イルカ」のデザインを踏襲。サンタの聖地を目指す天草市にちなみ、胴体底部にサンタ姿のくまモンをあしらひ、座席はワインレッドのシートに緑のシートベルトの「クリスマスカラー」とした。

乗りを国内初導入。購入費約23億円は、天草地域2市1町が全額補助した。現在、同社のパイロットが熊本空港などで操縦訓練している。

客室クリスマスカラーに



クリスマスイメージしたカラーの座席

機体は全長22・67メートル、全幅24・57メートル、全高7・59メートルで、現行のカナダ製ダッシュ8

約150人が出席した内覧会では、吉村孝司社長が「座席数が増え、団体客の取り込みも可能となる。全国に愛される航空機を目指します」とあいさつ。中村五木・天草市長が「天草地域がより活性化することを期待したい」と祝辞を述べた（酒森希）